

SETAGAYA Qs GARDEN サッカー大会

Supported by Daiichi Life Group

あなたのデータで 成長を 証明する3 days

トップアスリート向けの
ハイパフォーマンス体験を、
すべての一般選手へ

開催日 **1回目2026年7月11日(土)**
2回目/3回目は8~10月でスケジュール調整のうえ決定

STEP 1: 実地日 (初回)

試合を実施し
GPS×AIで測定。
専門家の講義と
フィードバック。

STEP 2: 日常

AI個別レポートと
パーソナライズ
された改善メニューを
各自で実践。

STEP 3: 次回実地 2回目、3回目

再び測定を実施し
継続データを比較。
努力の成果と
成長変化を確認。

⚠ 従来の「根性論」アプローチの限界

「走力だけ」「技術だけ」を鍛え、原因が見えないままやみくもに練習量を増やすだけでは、いずれ成長は停滞し、怪我のリスクも高まります。

アスリートが競技においてより高いパフォーマンスを発揮するためには、多岐にわたる要因（スキル、フィジカル、メディカル、メンタル、栄養、スケジュール、用具、戦略・戦術など）についての現在のコンディション（状態）を評価し、目標とするコンディションにできる限り近づくように整えていく「トータルコンディショニング」が必要となります。

⇒ 本来必要な「トータルコンディショニング」と現実の壁

しかし、一般選手が各分野のデータを取得し、エキスパートから個別に指導を受けるには、莫大な費用・人材・アクセスの制約があり、現実的には困難です。

🔒 SETAGAYA Qs GARDEN サッカー大会とは、

本プログラムは、育成世代の成長と健康増進を目的とした従来のサッカー大会に、プロ仕様の最先端スポーツテックおよび専門家の知見を融合し、選手育成の新たなスタンダードの確立を目指す実証実験を組み込んだ次世代型サッカー大会です。

フィジカル測定によるデータ収集から統合分析、専門家による講義・先端テック体験、さらに個別最適化されたAIフィードバックまでを一体で提供し、1dayイベント形式のプログラムを全3回に分けて実施します。

提供価値



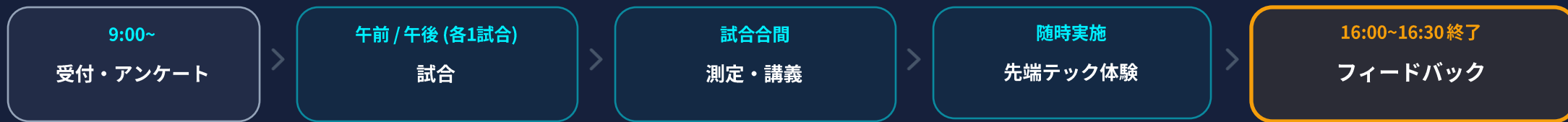
トッププロレベルのフィジカル・メンタル・栄養・生活習慣まで含むトータルコンディショニングを、最先端AI技術と専門家知見で一般選手に提供し、「自身の本当のボトルネックは何か」「次に何を变えるべきか」を明確にし、自ら改善行動（PDCA）を回せるようになる体験を開放します。

【研究開発型 PoC特別】 今回参加費 無料 (通常想定提供価格: 5,000~10,000円/回相当)

PROGRAM DETAILS

1日のスケジュールとソリューション・AIフィードバック

🕒 1日のスケジュール (全3回開催 ※3チームの場合、試合は午前・午後で各1試合。試合の合間に測定・講義を実施)



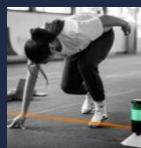
📡 使用ソリューション (一部)



PlayerData

GPSトラッキング

走行距離、スプリント回数、高強度走行距離など運動量を計測。



Photon Sports

スピード・アジリティ

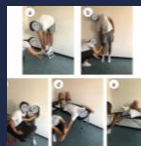
加速性能、方向転換、リアクションなど神経系パフォーマンスを評価。



Hawkin Dynamics

ジャンプ・左右差

地面反力、着地衝撃、下肢バランス分析により出力特性と怪我リスクを可視化。



怪我ゼロプロジェクト

可動域・柔軟性

10万件以上のデータから、関節可動域や柔軟性を基に怪我リスクを高精度に予測。

その他にも、睡眠・栄養・メンタルなど複数の最新ソリューションが参加予定

🧠 QUARIA AI フィードバック内容

選手が「次回までに何をすべきか」が明確にわかる



📄 AI個別レポートイメージ

強みの可視化

あなたの優れている点・伸ばすべきストロングポイント

ボトルネックの特定

成長を止めている本当の原因・怪我につながるリスク因子

あるべき姿への道筋

目指すべきパフォーマンス像とポジション別の理想モデル

個別最適化された改善メニュー

次回までに取り組むべき優先度の高い具体的なアクション

多面的な状態把握と成長ロジック

多面的な状態把握（取得データMAP）



成長ロジック

測るだけでは終わらない。"次に何をやるべきか"まで分かる。

本プログラム：データに基づく最適化と成長

- 1 統合データ取得・コンディション可視化
- 2 複数要素から本当のボトルネックを特定
- 3 あなた専用の改善優先順位・行動を提示
- 4 実践・再測定による圧倒的な成長実感

複数データの横断分析によるフィードバック具体例

<p>【データの掛け合わせ】</p> <p>[客観] ジャンプ着地時の左右差</p> <p>×</p> <p>[客観] 加速時パフォーマンス低下</p>	<p>▶</p> <p>【分析と提案】</p> <p>「下肢バランス由来の出力低下。怪我リスクも高い状態」</p> <ul style="list-style-type: none"> [P] 股関節可動域の改善 [P] 下肢バランス改善メニュー
<p>【データの掛け合わせ】</p> <p>[客観] 高強度運動量が全体的に不足</p> <p>×</p> <p>[主観] 強い疲労蓄積を感じる</p>	<p>▶</p> <p>【分析と提案】</p> <p>「オーバーワーク状態。練習量を増やすのは逆効果」</p> <ul style="list-style-type: none"> [P] 休養の確保を最優先 [P] 高強度走(週2回)へ質を転換

なぜ成長につながるのか？ データから改善までの分析フロー

📊 SOAPフレームワークによる統合的アプローチ

S: Subjective (主観情報)

選手本人が感じている状態。
疲労感 / 睡眠感覚 / 身体の重さ・痛み / メンタル・集中力など



O: Objective (客観測定) Three Nil(株)、(株)IHG等のソリューション活用

- **PlayerData**: GPSデータ (スプリント・高強度走行・心拍)
- **Photon Sports**: フィジカル (スピード・加速・敏捷性)
- **Hawk Dynamics**: 生体力学 (ジャンプ分析・着地・左右差)
- **ケガ予測診断テスト**: ケガ予防(可動域、柔軟性、機能性) 等



A: Assessment (評価・分析)

主観・客観の両面からデータを統合。
AI・専門家が横断分析し、自身の強みとパフォーマンス低下の「本当のボトルネック」を特定。

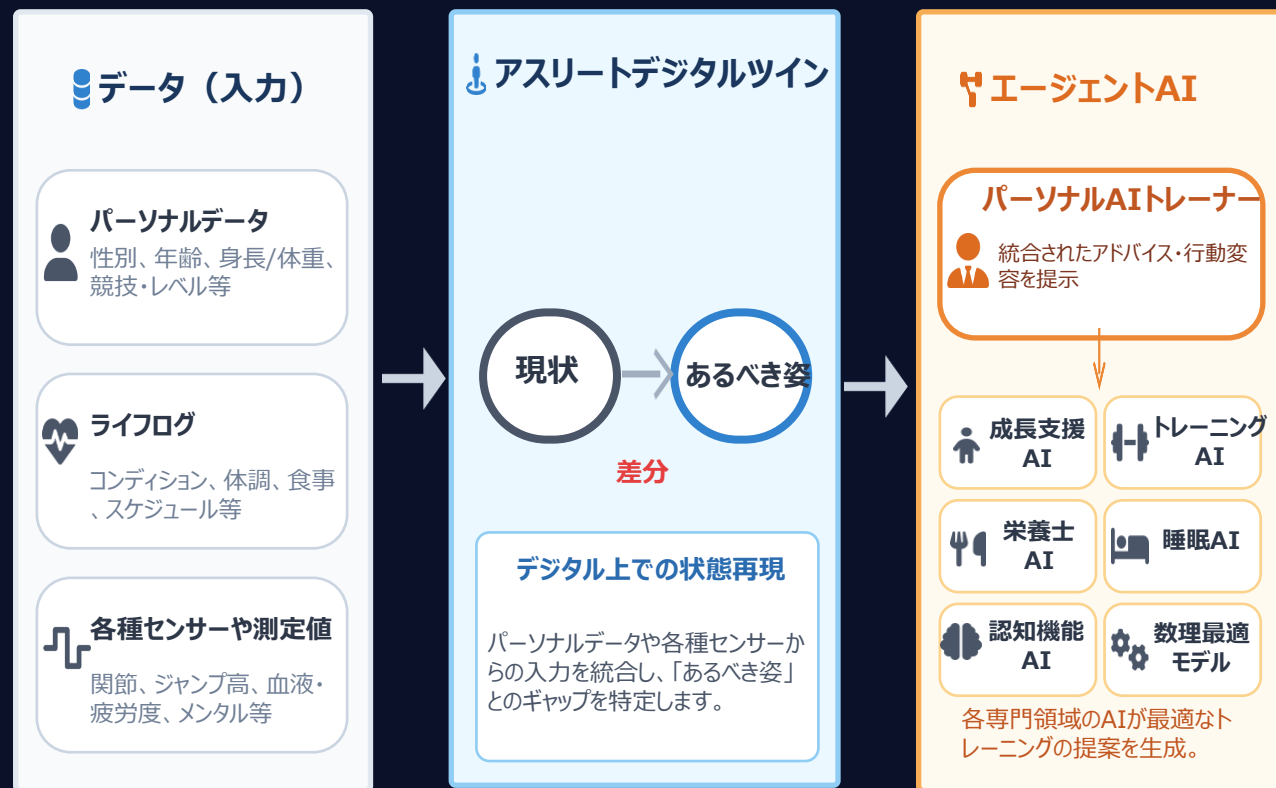


P: Plan (個別改善提案)

次回までに取り組むべき優先順位とアクションを提示。
睡眠・栄養の改善 / 可動域・バランス改善メニュー / リカバリー など

📊 ユーフォリア社 QUARIA AIによる評価・分析、個別改善提案

ユーフォリア社 QUARIA AIは、プロアマ問わず1700チームを超える膨大なデータ基盤とスタンフォード大学や国立スポーツ科学センターの専門研究員による科学的根拠に基づいた分析、改善提案を提供



本プログラムの価値は「測ること」ではなく、「次に何をやるべきかが分かること」です。